

特別企画 九州・沖縄地区の健康食品販売業者の経営実態調査 (2014年度)

売上高上位 50 社の売上高合計、3年連続で減少

～ キューサイが4年連続で売上高トップ～

はじめに

九州・沖縄地区 (以下、九州) には、全国にその名をとどろかせる健康食品販売業者が存在するなど「単品通販」に関連する企業が集積し、そのノウハウが蓄積されてきた。しかし、健康の維持・増進、美容への関心が高まるなかで、健康食品の市場には、医療・介護分野と並ぶ成長分野との見方から大手の食品・飲料メーカーや医薬品メーカーなどが相次ぎ参入、競争が激化しつつある。

帝国データバンク福岡支店では、企業概要データベース「COSMOS 2」(146 万社収録) から、九州に本社を置き、健康食品販売を主たる事業とする企業を抽出。その 2014 年度 (2014 年 4 月期～2015 年 3 月期) の売上高や利益額、その伸び率などをまとめた。本調査でいう健康食品とは、主として食品形状の保健機能食品、錠剤・カプセル・粉末形状などの健康補助食品 (サプリメントなど) などを指す。

なお、同様の調査は、2014 年 10 月 (2013 年度調査) に続いて 6 回目。

調査結果 (要旨)

1. 売上高上位 50 社の 2014 年度売上高合計は 1989 億 8200 万円で、2013 年度 (2000 億 2300 万円) に比べて 0.5% 減少。減少は 3 年連続
2. 2013 年度および 2014 年度の税引き後利益が判明した 38 社中、「増益」企業は 18 社 (同 47.4%) と、2013 年度の 55.8% (43 社中 24 社) から減少
3. 2014 年度の売上高ランキングは、キューサイ (株) (福岡市) が 4 年連続でトップ、2 位の (株) えがお (熊本市) が猛追
4. 2014 年度の売上高伸び率ランキングは、(株) ローズ・コーポレーション (北九州市) がトップ
5. 2014 年度は 5 件の倒産が発生

1. 2014年度の売上高 ～売上高「100億円以上」の企業群の減収響く

九州に本社を置く健康食品販売業者の売上高上位50社の2014年度売上高合計は1989億8200万円で、2013年度（2000億2300万円）に比べて0.5%減少。減少率こそ縮小したものの、3年連続の減少となった。

売上高規模別にみると、「10億円以上100億円未満」の企業群の売上高合計が508億100万円と、前年度の減少から一転、増加に転じた。2014年度に売上高が10億円以上となった企業が増えたことで、対象企業数が増えた側面もあるが、同企業群の上位企業において新規顧客獲得が進んだ結果、前年度（408億8200万円）から24.3%増えた。

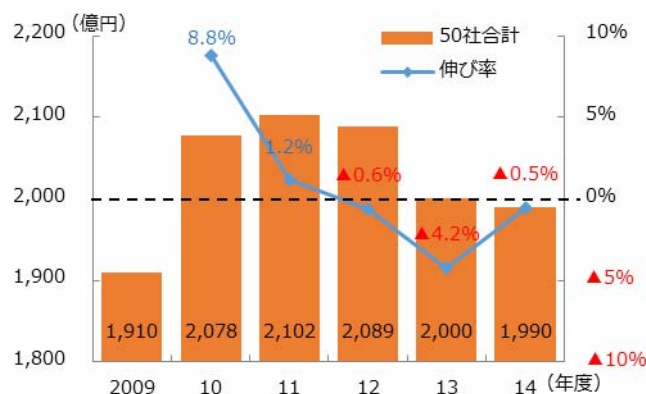
一方、ランキング上位の「100億円以上」の企業群では、大手メーカー系販売会社などとの競合に加え、2014年4月の消費税率引き上げにともなう反動減の影響から苦戦が目立ち、売上高合計は1351億6700万円（構成比67.9%）と7割近くを占めながらも、前年度（1436億8200万円）に比べて5.9%減少、全体を押し下げた。

「10億円未満」の企業群についても、消費税率引き上げ後の消費低迷の影響が及んだほか、大手および地場上位業者との顧客争奪の激化から、「増収」企業が17社中6社（構成比35.3%）にとどまり、売上高合計は130億1400万円と、前年度（154億6000万円）に比べて15.8%減少した。

2. 2014年度の利益額 ～「増益」が過半数割れ

販売面で苦戦が見て取れるなか、損益面でも苦戦する企業が増えている。2013年度および2014年度の税引き後当期純利益額が「未詳」の企業を除くと、「黒字」企業は2013年度が43社中40社（構

■ 2009年度以降の売上高合計推移



■ 売上高上位50社の売上高合計推移

| | 2012年度 | | 2013年度 | | 2014年度 | |
|-------------------|----------------|----------------|--------------|----------------|--------------|--|
| | 売上高合計 (百万円) | 売上高合計 (百万円) | 前年度比売上高伸び率 | 売上高合計 (百万円) | 前年度比売上高伸び率 | |
| 10億円未満 | 13,265 | 15,460 | 16.5% | 13,014 | ▲15.8% | |
| 10億円以上 100億円未満 | 46,649 | 40,881 | ▲12.4% | 50,801 | 24.3% | |
| 100億円以上 | 148,973 | 143,682 | ▲3.6% | 135,167 | ▲5.9% | |
| 合計 | 208,887 | 200,023 | ▲4.2% | 198,982 | ▲0.5% | |

注1) 各年度の決算が2カ月未満の企業は、年換算して売上高合計を計算した。

注2) 2012年度および2013年度売上高合計は前回調査分。

注3) 2012年度～2014年度の集計企業は、年度ごと一部入れ替わりがある。

注4) 2012年7月1日付けで旧・(株)エバーライフを合併した(株)エバーライフは、合併前との比較。

■ 売上高規模別の前年度比売上高増減 ()内は2013年度

| | 増収 | 横ばい | 減収 | 社数計 |
|-------------------|----------------|--------------|----------------|----------------|
| 10億円未満 | 6 (11) | 3 (2) | 8 (8) | 17 (21) |
| 10億円以上 100億円未満 | 17 (13) | 2 (1) | 6 (8) | 25 (22) |
| 100億円以上 | 0 (2) | 0 (0) | 5 (2) | 5 (4) |
| 合計 | 23 (26) | 5 (3) | 19 (18) | 47 (47) |

注) 2012～2014年度決算が2カ月未満の企業は集計対象から除外。

成比93.0%) だったのに対し、2014年度は38社中34社(同89.5%)と、比率が低下している。とりわけ、「黒字」企業のなかでも「増益」企業については38社中18社(同47.4%)と、2013年度の43社中24社(同55.8%)から減少しており、過半数を割った。

売上高規模別にみると、「100億円以上」の企業群では「増益」企業がなくなった。非公開を含む「未詳」が3社あるため、一概には言えないものの、売り上げ減少により利益が出にくくなっていることがうかがえる。

■ 売上高規模別の前年度比利益（税引き後利益）増減

()内は2013年度

| | 黒字 | | | 赤字 | 未詳 | 社数計 |
|-------------------|---------|-------|---------|-------|--------|---------|
| | 増益 | 横ばい | 減益 | | | |
| 10億円未満 | 7 (11) | 1 (1) | 4 (5) | 2 (2) | 3 (2) | 17 (21) |
| 10億円以上 100億円未満 | 11 (9) | 2 (0) | 5 (7) | 2 (1) | 6 (5) | 26 (22) |
| 100億円以上 | 0 (4) | 0 (0) | 4 (3) | 0 (0) | 3 (0) | 7 (7) |
| 合計 | 18 (24) | 3 (1) | 13 (15) | 4 (3) | 12 (7) | 50 (50) |

注) 「未詳」は、2013年度もしくは2014年度の税引き後利益額が判明しない企業

3. 2014年度売上高ランキング ～4年連続トップの「キューサイ」を、「えがお」が追う

2014年度の売上高ランキングでは、キューサイ(株)(福岡市)がトップに立った。同社は、コカ・コーラウエスト(株)(東証一部、福岡市)の全額出資子会社。「ヒアルロン酸コラーゲン」や「ケール青汁」などの健康食品(ヘルスケア)のほか、オールインワン化粧品「コラリッチ」などの化粧品(スキンケア)を販売している。期中は、消費税率引き上げ後の消費の落ち込みの影響を受けたほか、同業他社との競合などもあって、売上高は前年度比5.1%減の約274億1000万円となったが、4年連続で首位となった。

2位は(株)えがお(熊本市)。黒酢エキスをカプセル化した「えがおの黒酢」をはじめ、深海鮫肝油「鮫珠」、ブルーベリーエキスを配合した「えがおのブルーベリー」を主要商材とし、テレビショッピングやラジオを積極的に活用したメディア戦略で売り上げを拡大させてきた。2013年に決算期を変更しているため時系列比較は困難だが、2014年度は売上高約264億6100万円を計上、トップのキューサイ(株)を猛追している。

3位は総合通販業者の(株)はぴねすくらぶ(福岡市)。「ヒアルロン酸コラーゲン 潤いバランス」や「琉球黒もろみ酢 活性あわせ」などの健康商品を中心に、基礎化粧品やヘアケア用品、寝具、家具、雑貨、食料品など、取り扱いアイテムは多岐にわたる。決算期が4月のため、消費税増税前の駆け込み需要を取り込めたものの、インターネット通販サイトや同業他社との競合などもあって売上高は前年度比2.7%減の約240億7900万円となった。

4位は(株)やずや(福岡市)。カプセルタイプの「熟成やずやの香醋」や「雪待にんにく卵黄」のほか、発酵乳をカプセル状にした「やずやの千年ケフィア」などを通信販売するほか、福岡市内には小売店と飲食店を兼ねた店舗を開設している。前年度に引き続き、広告宣伝を抑制し、リピート顧客を中心とした受注に終始したこともあって、売上高は同11.8%減の約194億円となった。

5位は(株)エバーライフ(福岡市)。ヒアルロン酸「皇潤」シリーズを主体とする健康食品のほか、

ジェルクリームなどの化粧品「皇潤艶肌」シリーズを販売している。2012年12月に韓国へのヘルスケア企業最大手LG Household&Health Careの子会社になり、2014年度は健康食品や化粧品で新商品を続々と投入したものの、同業他社との競合激化に加え、期中の消費税率引き上げ後の消費低迷の影響が長期化。売上高は約130億2800万円となった（2013年に決算期を変更したため期間比較はできない）。

■ 2014年度売上高ランキング（上位10社）

| 順位 | 前年度 順位 | 商号 | 所在地 | 主な商品 | 決算 月 | 売上高 (百万円) 注1 | 前年度比 売上高 伸び率 |
|----|-----------|-----------------|---------|--|---------|--------------------|--------------------|
| 1 | 1 | キューサイ（株） | 福岡市 | 「ケール青汁」、「ヒアルロン酸コラーゲン」、「ペプチドエース」 | 12 | 27,410 | ▲5.1% |
| 2 | 4 | （株）えがお 注2 | 熊本市 | 「えがおの黒酢」、「えがおの肝油鮫珠（さめだま）」、「えがおのブルーベリー」、「えがおの青汁満菜」 | 12 | 26,461 | — |
| 3 | 2 | （株）はびねすくらぶ 注3 | 福岡市 | 「ヒアルロン酸コラーゲン 潤いバランス」、「琉球黒もろみ酢 活性あわせ」、「酵母と酵素deさらスルー」 | 4 | 24,079 | ▲2.7% |
| 4 | 3 | （株）やずや | 福岡市 | 「熟成やずやの香醋（こうず）」、「やずやの養生青汁」、「雪待にんにく卵黄」、「やずやの千年ケフィア」 | 12 | 19,400 | ▲11.8% |
| 5 | 7 | （株）エバーライフ 注4 | 福岡市 | 「皇潤」、「美・皇潤」、「鮫肝海王（さめぎもポセイドン）」、「五黒精」 | 12 | 13,028 | — |
| 6 | 6 | （株）健康家族 | 鹿児島市 | 「伝統にんにく卵黄」、「熟成黒酢にんにく」、「健康家族のにんにく生姜」、「健康家族のグルコサミンリッチ」 | 8 | 12,406 | ▲2.2% |
| 7 | 5 | （株）アサヒ緑健 | 福岡市 | 「緑効青汁」、「青汁×コラーゲン」、「青汁×グルコV（ファイブ）」、「りよくこう青汁キトサンイン」 | 3 | 12,383 | ▲8.1% |
| 8 | 8 | （株）愛しとーと | 福岡県那珂川町 | 「うるおい宣言」、「すらっと宣言」、「スキップ宣言」、「まるごと雑穀酵素」 | 9 | 7,154 | ▲7.8% |
| 9 | 9 | （株）健康の杜 | 福岡市 | 「杜のすっぽん黒酢」、「金時しょうがプラスシルクペプチド」、「爽臭革命」 | 9 | 3,941 | 22.3% |
| 10 | — | （株）ローズ・コーポレーション | 北九州市 | 「アミノゴールド」、「サラシア青汁」、「ビュアバランス」 | 10 | 3,671 | 66.4% |

注1) 売上高は推定を含む。

注2) （株）えがおは、2013年に決算期を毎年3月から12月へ変更しており、2013年度は稼働期間9カ月の変則決算。売上高伸び率は計算できない。

注3) （株）はびねすくらぶは、2014年3月に（株）メディア・プライスより商号変更。

注4) （株）エバーライフは、2013年に決算期を毎年3月から12月へ変更しており、2013年度は稼働期間9カ月の変則決算。売上高伸び率は計算できない。

注5) （株）愛しとーとは、2014年10月に（株）HRKより商号変更。

4. 2014年度売上高伸び率ランキング ～「ローズ・コーポレーション」がトップ

2014年度の売上高伸び率ランキングは（株）ローズ・コーポレーション（北九州市）がトップに立った。かつては下着や化粧品などを主体とするネットワークビジネスを主体としていたが、近時は濃縮アミノ酸を主体とするオリジナルサプリメントなどのウエイトが増加。既存会員に対する健康食品訴求の効果もあって売上高は前年度比66.4%増の約36億7100万円となり、売上高ランキングでも10

位に入った。

■ 2014年度 売上高伸び率ランキング（上位3社）

| 順位 | 全体 順位 | 商号 | 所在地 | 主な商品 | 決算 月 | 売上高 (百万円) 注1 | 前年度比 売上高 伸び率 |
|----|----------|------------------|--------|--|---------|--------------------|--------------------|
| 1 | 10 | (株) ローズ・コーポレーション | 福岡市 | 「アミノゴールド」、「サラシア青汁」、 「ピュアバランス」 | 10 | 3,671 | 66.4% |
| 2 | 11 | (株) ハーブ健康本舗 | 福岡市 | 「モリモリスリム」、「ハーブクリーナー」、 「カロピタスリム」、「カロピタウコン」 | 10 | 3,029 | 43.6% |
| 3 | 16 | (有) 九南サービス 注2 | 宮崎県都城市 | 「みらいのこうそ」「こなゆきコラーゲン」 | 8 | 1,902 | 33.5% |

注1) 売上高は推定を含む。

注2) (有) 九南サービスは、2013年に決算期を毎年6月から8月へ変更しており、売上高伸び率は2013年6月期と2014年8月期で計算した。

伸び率2位には、(株) ハーブ健康本舗（福岡市）が入った。自社サイト「すっきりライブ通販」を運営し、主力商品の健康茶「モリモリスリム」やサプリメントの「ハーブクリーナー」、「カロピタスリム」などの健康補助食品を販売。フリーペーパーなどの紙媒体に対して宣伝広告を積極化させたこともあり、売上高は前年度比43.6%増の約30億2900万円となった。

伸び率3位は(有) 九南サービス（宮崎県都城市）。「タマチャンショップ」の名称でインターネットショップを展開し、フリーズドライ酵素の「みらいのこうそ」をはじめ、豚皮由来の低分子コラーゲン「こなゆきコラーゲン」などの健康食品のほか、雑穀類や農産物、加工食品などを販売。2014年度は複数のインターネットショッピングモールへの出店を進めたほか、自社通販サイトをオープン。新規顧客の獲得から売上高は前年度比33.5%増の約19億200万円となった。なお、同社は2013年に決算期を変更しており、伸び率は2013年6月期と2014年8月期決算で比較した。

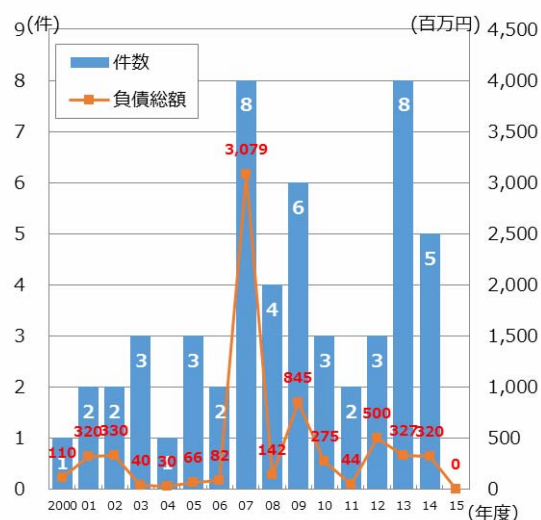
5. 倒産動向 ～2014年度は5件

九州における2014年度の健康食品販売業者の倒産件数（法的整理のみ、負債1000万円以上）は5件だった。この結果、2000年度以降の倒産件数は53件となった（2015年度は4～9月だが発生件数はゼロ）。

2014年度は負債総額が3億2000万円と、前年度に引き続き中小・零細企業の倒産が主体となったものの、2000年度以降で最多だった2007年度および2013年度（8件）、2009年度（6件）に次ぐ発生件数となった。

倒産企業をみると、インターネットでの通信販売を主体とする企業が大半を占める。大手を含む同業他社との競合で売り上げが伸び悩むなか、広告宣伝に資金が回せなくなり、加速的に売り上げが落

■ 健康食品販売業者の倒産動向



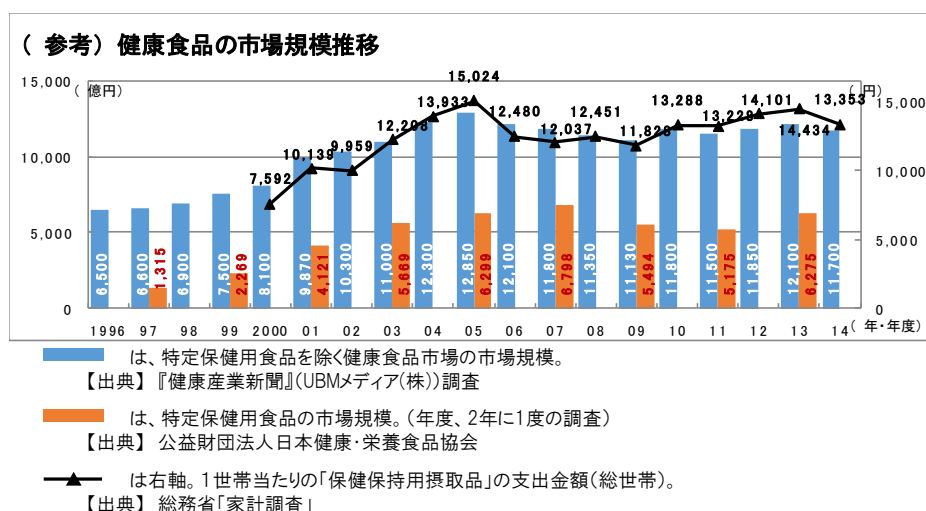
ち込むという、典型的なケースが多い。市場が成熟しつつあるなか、ブランド力のある健康食品、また、新たに制度化された「機能性表示食品」との競合激化は必至の情勢で、中小・零細業者はさらに苦戦を強いられる可能性がある。

まとめ

九州の健康食品販売業者の売上高上位 50 社の合計売上高は、3年連続で減少した。2014年4月に消費税率引き上げという大きなポイントがあり、決算月により、駆け込み需要を含む企業と、その反動によるマイナスの影響が色濃く残った企業が混在しているが、全体としては、大手メーカー系企業などの積極的な市場参入もあって顧客獲得競争が激化。さらに、市場が成熟しつつある（末尾参考）こともあって、伸び悩み傾向が見て取れる。

政府は、心身ともに自立して健康に生活できる「健康寿命」の延伸を重点施策の一つに掲げてきた。こうしたなか、特定保健用食品（トクホ）、栄養機能食品とは別に、事業者の責任により科学的根拠に基づいた機能性を表示できる「機能性表示食品」制度が2015年4月にスタート。大手メーカー系企業や、健康食品のOEM（相手先ブランドによる製造）受託企業などが続々と届出を行うなか、九州の売上高上位企業も届出を行ってきている。

機能性表示食品は、機能性表示が制限されてきた健康食品類に比べて販売戦略上、優位に立てるメリットが見込まれている。広告宣伝の面ではまだ、明確なガイドラインが整備されていないなどで模索が続いているが、今後、機能性表示食品が一般化すれば、その取り扱い如何が業績を左右し、また、扱わない企業の淘汰につながる可能性がある。



【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 福岡支店情報部 担当：三好暁久

TEL：092-738-7779 FAX：092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。